

# 防災チャレンジプラン最終報告会

平成31年2月23日(土)



「夢」と「高森の心」を育み、挑戦し続ける学校



高森町立高森東学園義務教育学校

# 地域の紹介

## 【高森東学園】

- 阿蘇山の南東部
- 県境の校区
- 標高800m
- 全校児童生徒42人
- 保護者25戸



引用「Google earth」

# 推進している取組

学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業  
(文科省)

学校ICT環境整備促進実証研究事業 (文科省)

起業体験推進事業 (文科省)

防災教育チャレンジプラン  
(内閣府)



**4つのプロジェクトへの位置づけ**

考える・思いやる・元気・地域を誇る児童生徒の育成PJ

# 東学園防災チャレンジプラン基本構想

高森東校区の防災減災について学び、児童生徒自らが考えて行動できる力を育てる

## 地域防災のつながりと深まり

行政・地域・保護者  
「地域防災活動」への挑戦

めざす児童生徒  
考え行動できる「防災力」を身につける  
学習・体験活動にチャレンジ

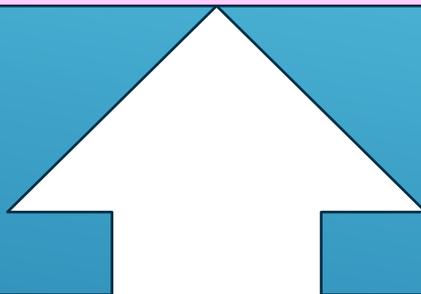
めざす教職員  
防災教育の「学び・広げる」学習の可能性への挑戦

## 地域と連携した防災教育の取組

～東学園5レンジャー！地域の安全守りタイ出動！

組織連携の活性化と既存の取組

子ども達の未来につながる  
地域の防災・減災意識を高める！



- ①地域各機関と連携した実践
- ②一人一人が自分の役割を意識・把握し行動できる力をのばすための実践
- ③防災拠点としての学校の防災機能の向上

# 防災5レンジャー



5つの力を合わせて、東地区の防災減災について学び  
子ども達が自ら考えて行動できる力を育てよう！

## 児童生徒

学習と体験からパワーを出し自らや地域の未来に大きな力を出す！

## 教職員

児童生徒と学びながら、学校防災力・結束を強めるためのサポーター

## 保護者

保護者会や親父の会、平和と安全を見守り体験をサポート！する正義の味方！

# 東学園5レンジャー

## 行政

役場・消防署・警察署、地域の安全を教え導いてくれる子ども達の夢希望レンジャー

## 地域

JAちゃぐりん・地域婦人、子ども達と一緒に活動する優しさいっぱいレンジャー

# 取組の実際

- 5月
  - ・チャレンジプラン運営委員会
  - ・防災授業研究会
- 6月
  - ・児童生徒 防災リーダー会議
  - ・校内地震予測マップの作成
- 7月
  - ・地震避難訓練の実施
- 8月
  - ・チャレンジプラン運営委員会
  - ・親子でチャグリンフェスタ  
～防災について考える～
- 9月
  - ・防災授業研究会
- 10月
  - ・校内運営委員会
- 11月
  - ・ひめゆり文化祭啓発活動
  - ・火災避難訓練・防災体験学習
- 12月
  - ・校内運営委員会
- 1月
  - ・Sブロック被災地見学・復興支援

# 各発達段階における目指す児童生徒像（防災教育）

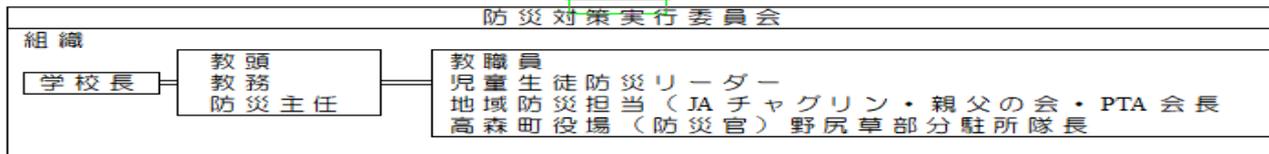
テーマ ～地域と連携した防災教育の取り組み～  
高森東地区の防災減災について学び、  
子どもが自ら考えて動ける力を育てよう

## 目指す児童生徒像

S ブロック	日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りができる児童生徒。		
	知識・思考・判断	危険予測・主体的な行動	社会貢献、支援者の基盤
	○高森東地区で起こりやすい災害について理解する。	○災害時における危険を認識し、避難訓練等を生かして、自らの安全を確保することができる。	○自他の生命を尊重し、災害時及び発生後に、他の人や集団、地域に役立つことができる。
M ブロック	日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を予測・判断し、安全な行動ができるようにするとともに、周囲の人々とともに適切な行動ができる児童生徒。		
	知識・思考・判断	危険予測・主体的な行動	社会貢献、支援者の基盤
	○災害時に適切な行動を取ることができる判断力を身につける。 ○災害を軽減し、災害時に役立つ物について理解する。	○自然災害の危険を学び、安全な行動をとることができる。	○避難訓練などに参加しながら、周囲の人々とともに、防災減災に対する適切な行動ができる。
L ブロック	日常の備えや確かな知識をもとに災害の危険を予測・判断し、適切に行動できるようにするとともに、地域のつながりの大切さを理解し、地域の防災活動に主体的に参加できる児童生徒。		
	知識、思考・判断	危険予測・主体的な行動	社会貢献、支援者の基盤
	○自然災害のメカニズムや災害の危険性を理解する。 ○日頃の備えの必要性や情報の活用について考える。 ○学校内の防災について検討し、よりよい防災環境について考えることができる。	○防災知識に基づいた判断を行い、主体的に安全な行動を取ることができる。 ○被害の軽減や災害後の生活を考え、備えることができる。 ○災害時には危険を予測し率先して避難行動がとれる。	○地域の防災や災害時の助け合いの重要性を理解し、主体的に活動に参加する。 ○防災についての学びを地域に広げ、地域防災の活性化を図る行動をとることができる。

防災知識の取得 地域と連携した防災学習	思考力・判断力・行動実践力の育成 防災に関する学習 教科・教科等指導	避難訓練 安全指導
○ JA チャグリンフェスタへの参加 ○ 地域避難訓練 ○ 防災キャンプ	○ 関連教科とのつながり  自然災害について 自然災害の特徴と防災 高森東地区 … 普段の学習の中で、確かな知識に基づく防災意識の向上を図る	○ 地震避難訓練 ○ 火災避難訓練 ○ 児童生徒防災リーダーか らの啓発による校内安全 点検の実施

## 防災対策実行委員会



# 学習の洗い出しと、学習の深まりを求めて

学年	防災関連題材	学習内容
5	気象「天気の変化」 「台風と天気の変化」	○気象衛星とアメダス・天気予報と気象予報士 ○台風による被害・被害を防ぐ工夫と台風の恵み
6	地震・火山噴火 「土地のつくりと変化」	○災害予知と防災情報 ○防災対策 ○過去の災害から学ぶ
7	地震・津波 「大地の変化」	○緊急地震速報・津波警報 ○地震の災害から身を守る
8	気象 「気象の仕組みと天気の変化」	○いろいろな気象観測 ○気象観測から天気予報ができるまで ○気象予報士
9	気象・地震・火山噴火 「地球の明るい未来のために」	○自然環境がもたらす災害 ○地震や火山噴火から身を守る

教科学習（理科）より・・・  
このほかに総合学習、道徳や社会、など防災に関連した学習があります。関連教科の学習を十分に活かしながら、子ども達の学びを深め興味を引き出しています。

# 運営委員会



児童生徒のために何ができるか

求められる力は何か

災害が起こったときをイメージした  
取組の計画

# 6月20日 公開授業 総合的な学習「地域社会の一員として」

## 「熊本地震を含む自然災害について考える」

- ▶ 講師招聘にて授業展開（阿蘇広域消防署）
- ▶ 職員・生徒と合同授業
- ▶ 校内研修での学びの時間・授業検証



# 8月31日 公開授業 家庭科「住生活と自立」

## 「巨大地震から身を守る」

- ▶ 校内研修としての授業展開・検証
- ▶ 大地震を想定した課題の提示と、解決について考える
- ▶ 職員校内研修での授業研究会の実施



# 8月20日 体験学習 JAちゃぐりん等の他組織との連携

住：防災グッズの作成

食：防災食の作成と試食



# 夏休み期間中 地域避難訓練・ボランティア活動に参加



スクールバス停を中心に掃除を行いながら、地域の危険箇所等について確認



地域で地震を想定した避難訓練に参加。その後救急救命法

# 地震避難訓練

## 訓練計画：生徒防災リーダー

### (1) 防災リーダーの活動

- 校内危険マップを作成  
(危険箇所・対応について)
- 避難訓練後の集会の運営

### (2) 地震をイメージした避難訓練

- 生徒が考えた被害状況（ガラスの破片・壁や物の落下等）を想定した経路を通りながら避難し、安全な避難の工夫について考える。

### (3) 避難訓練の考察

- 第1避難所に集まったときに、担任を中心に「危険だった場所」「対応の工夫」「第2避難所までの経路の検討」などを児童生徒に考えさせた。



# 災害とストレスケア



心のアンケートや保護者の思いを受けて実施

# 避難所運営体験ゲーム

様々な避難者の要望や状態を考え、どう運営することができるか考える。





# 被災地見学・復興支援



被災地の見学



お弁当で復興支援

# 8・9年生復興支援



被災地の食品を販売



被災地へメッセージ



東京チャリティーマラソンへ参加

# 火災避難訓練・防災体験学習



防災グッズの選定



簡易担架作り

# 火災避難訓練・防災体験学習



車いす体験



消火器体験

# 火災避難訓練・防災体験学習



消防団のアドバイス



バケツリレー

# 火災避難訓練・防災体験学習



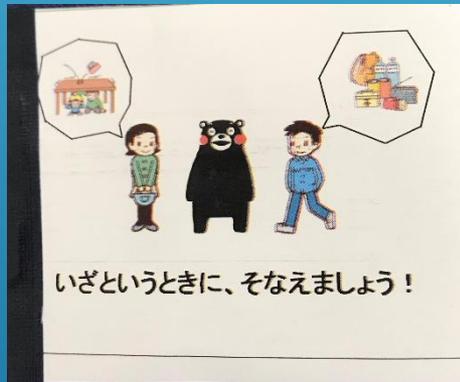
消防団操法訓練実演



消防車放水体験

# 啓発活動

- 防災カレンダーの作成
- 防災標語およびポスターの作成
- 防災掲示板の活用
- 安心★安全★東っこ便り
- 安全マップの作成
- 防災手帳の作成



# 活動の成果

- 本校の防災教育の質の向上
- 地域防災力の向上
- 自分自身にできることを考え行動する力の育成
- 自然災害への備え（校区の課題とその対策）



5つの組織で連携した取組ができている。  
その中で、児童生徒が自分だけではなく身の回りの環境や人々、地域の防災についても視野を広げ考えることができるようになってきた。

# 本校における取組上の課題

○時数的な余裕や日程調整が難しい中で、学校の年間計画に防災に関する取組をどう位置づけていくか。

○今年度の充実した取り組みを、来年度にどのようにしてつないでいくか。

一年間ご指導いただき  
ありがとうございました。

